

日本詩人クラブの新たなる事業、『詩界論叢』の発刊について

既に 2022 年度の総会で承認されましたが、日本詩人クラブでは創立 70 周年を契機に、新しい事業として、詩に関する評論やエッセイを発表する冊子、『詩界論叢』を発刊する企画を計画いたしました。日本詩人クラブの創立の理念は、「和暢友愛の精神をもって詩及び詩学の興隆、国語の醇化に務め、日本文化の進歩に寄与するとともに、詩の国際交流を促して、世界平和の確立に貢献することを目的とする」であります。『詩界論叢』は、広い範囲で、詩人の交流の場となることを願っております。日本詩人クラブの伝統を守りながら、広く詩の愛好者のための冊子としたいため、会員、会友をはじめ、会員でない方からも参加して頂きたいと考えております。

詩人たちが詩について語りあえる場を共有しながら、詩論やエッセイを発表する場を持つことは、詩の世界を広げ、詩の質を高めることにつながります。既に、隔年で発刊している、『日本現代詩選』では、会員の方たちに詩を発表して頂いていますが、評論やエッセイにおいても、詩人の皆様の執筆意欲を促し、成果を広い読者層にも訴えてゆくものとして、『詩界論叢』を展開して参りたいと存じます。

今後は、『日本現代詩選』と『詩界論叢』を隔年ごとに発刊し、日本詩人クラブの活動を充実させていきたいと考えております。今年の 12 月には『日本現代詩選』が発刊される予定ですので、『詩界論叢』は、2023 年の 6 月に募集を締め切り、12 月を発刊予定として計画しております。別紙の募集要項をご確認下さい。詩を中心とした評論やエッセイの応募作品は既発表のものでもかまいません。多くの方々の積極的なご参加をお待ちしております。

なお、編集委員、編集参与は次の方たちです。編集参与については、他の方にも依頼しておりますので、今後、追加させて頂くようになりますのでご了承下さい。

編集委員 遠藤ヒツジ・佐相憲一・高島りみこ・原詩夏至

編集参与 網谷厚子・川中子義勝・神田さよ・北岡淳子・谷口ちかえ・武子和幸・中村不二夫・星善博・吉田義昭

この新事業は、日本詩人クラブ内に新たに設置された将来構想委員会の発案で企画されました。今後も日本詩人クラブの事業の活性化を目指し、現事業を見直し、再検討が必要である事業は、思い切った改革をと考えております。来年の 2 月には、初めて、大阪での例会の実施を企画いたしました。今後も、全国の様々な場所で、例会や地域大会が開かれていくことを計画していきます。将来構想委員会は、今後は、将来構想運営委員会として活動を広げ、理事会の下で、『詩界論叢』の編集、発行や、例会、地域大会、国際交流の企画、検討をする委員会として活動していきます。

これからも様々な事業によって、会員、会友の方たちだけでなく、詩人の皆様との交流の輪をさらに広げ、活動を活性化していきたいと思っておりますので、皆様のご協力、ご支援をよろしく願いいたします。